

平成19年度
事業報告書

社会福祉法人
筑前町社会福祉協議会

総括的概要

市町村の合併に伴い、社会福祉協議会も合併して3年となりました。

事務所についても、コスモスプラザへ移転しての運営となりました。しかし、まだまだ一本化に慣れないこともあり不便を訴えられることもあり、要請があれば出向いての対応を行っています。

このような状況の中、公共的立場での地域福祉の中核的役割を担っている、社会福祉協議会として住民の福祉課題を把握し、自主的・主体的サービスの提供を推進して地域福祉の向上に努めて来ました。

高齢者福祉事業としては、今年度も「いきいきふれあいサロン」を推進してきました。新規に2地区が開会することとなり、31地区で開催しています。

青少年福祉事業では、小学生や中学生を対象とし、福祉施設の入居者の方とのふれあいを各施設の方々等のご協力を得て、日帰りのふれあい体験学習を実施しました。各施設の利用者においても大変喜ばれています。今後も福祉教育充実に積極的に取り込んでいきます。

その他の福祉事業においても、ボランティア団体等の役割が重要視されてきています。

町のボランティア連絡協議会を母体として、活動の拡大を推進するとともに、団体等の育成・支援を行うこととしています。

事項別状況

1. 法人運営

(1) 理事会・評議員会

第1回理事会・評議員会	4月 6日	
役員改選・定款変更		
第2回理事会・評議員会	5月31日	
平成18年度事業報告及び決算承認		
第3回理事会・評議員会	8月30日	8月31日
共同募金運動・第1回補正予算		
第4回理事会・評議員会	3月18日	3月21日
第2回補正予算・平成20年度事業計画及び予算		

(2) 福祉部会

全体福祉部会	5月23日	
各部会の役員選出・事業計画		
民生部会	8月 7日	
共同募金運動・敬老の日記念品・母子父子交流会		
保健部会	8月22日	
身障者福祉大会・重度障害者遠足会・介護者のつどい		

2. 高齢者福祉事業

(1) ふれあいいきいきサロン

70歳以上の在宅高齢者を対象に、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように地域のみんなが支えあい、共に元気で楽しく一日を過ごすことができる場所づくりを推進し、高齢者の社会参加の喜びや、健康維持ができる体力・活力を養うことを目標として行いました。

① 実施状況

・新規地区	二区（6月発会）	石櫃区（9月発会）
・実施区	三輪地区 17区	夜須地区 14区
・会員数	889人	
・延べ実施回数	334回	
・延べ参加者数	7,089人	

〈平成19年度区別実績と会員数〉

区名	男性	女性	合計	ボラン ティア	開催回数	参加人数
大塚	17	19	36	4	10	142
弥永	14	24	38	0	10	262
依井	14	30	44	内 9	11	272
依井二	4	34	38	17	13	389
高田	19	26	45	内 5	11	184
新町	20	43	63	0	7	218
野町	15	21	36	内 10	8	132
原地蔵	7	19	26	3	7	89
久光	0	26	26	16	13	296
栗田	4	20	24	14	10	245
森山	6	16	22	5	7	142
当所	0	12	12	11	11	199
上高場	5	19	24	12	12	308
大久保	9	12	21	3	6	78
山隈	7	32	39	2	8	215
高上	3	16	19	3	13	203
朝園	2	18	20	14	13	381
下曾根田	7	13	20	0	9	137
砥上	0	24	24	1	13	267
松延本村	9	15	24	1	13	238
松延新道	8	19	27	2	10	204
中牟田村	1	18	19	14	13	285

朝日東	6	22	28	2	12	230
朝日西	15	26	41	内 8	10	280
篠 隈	5	25	30	14	13	317
篠隈新道	9	16	25	17	13	334
東小田下	5	13	18	5	13	256
福 島	13	23	36	3	13	304
四三嶋	3	14	17	0	13	163
二	3	15	18	0	11	180
石 櫃	6	23	29	0	8	139
合 計	236	653	889	163	334	7,089

* 開催回数と参加人数には、合同サロンの実績を加算しています。

② ふれあいいきいきサロン代表者会議

- ・平成19年5月1日(火)生涯学習館1・2・3会議室 参加者 53人
内 容 19年度年間計画及び助成金交付について
新たな役員さんになり活発な意見がたくさんありました。
- ・平成19年10月30日(火)生涯学習館1・2・3会議室 参加者 51人
内 容 サロンの現状報告について
合同サロンについて
健康講座について
区の助成金の話と、子供たちとの交流会についての質問や意見がでました。
- ・平成20年3月4日(火)めくばーる福祉館多目的室 参加者 53人
内 容 19年度事業報告について
20年度事業の取り組みについて

③ 健康講座について

認知症健康教室と口腔ケア教室を実施いたしました。

健康について	1地区	25人
認知症予防教室	6地区	122人
口腔ケア教室	6地区	139人

④ 小学生との交流会

子供達からは、創作のボール作りは難しかったけど、出来たときはうれしかった、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒にゲームができ楽しかったとの言葉がありました。(夏休み・冬休み利用)

9地区 大塚区・依井二区・久光区・上高場区・朝園区
新町区・朝日東区・篠隈区・篠隈新道区

参加者 小学生 150人 PTA 22人 先生 2人

⑤ 地域ボランティア研修会

各地域でのボランティアを育成するものとして、研修会を行いました。
平成19年7月31日(火)生涯学習館1・2・3.会議室

参加者 地域ボランティア62人 サロンボラ9人
創 作 ペン立て(牛乳パック使用)
レクリエーション 後だしジャンケン・手遊び・足踏み・指先運動
ぴんしゃん体操(転倒予防に効果的な体操)

⑥ 花見

春や秋の季節に花見を行い参加された方からたいへん喜ばれました。

参加者 16地区 延べ347人

⑦ ふれあいいきいきサロン合同交流会

1班 平成19年12月 3日(月) 参加者158人 9地区

2班 平成19年12月10日(月) 参加者168人 9地区

1班・2班は10:30~14:30 めくばり館

3班 平成20年 1月21日(月) 参加者128人 7地区

4班 平成20年 1月28日(月) 参加者138人 7地区

3班・4班は10:30~14:30 コスモスプラザ敬老館

(2) 独居老人のつどい

70歳以上の一人暮らしの方を対象に閉じこもりの解消、生きがいをづくり、交流を図る事を目的に開催しました。

・平成19年7月30日(月)

コスモスプラザ敬老館にて 10:30~14:00

参加者 独居34名、部会16名、ボランティア14人 計64人

午前中 講師 隣保館 館長 橋津和寛氏

講演「ありがとうは命のことば」

午後 演芸 ボランティア(もやいの会)で踊りを披露して頂きました。

・平成19年10月22日(月)

国立夜須高原青少年自然の家にて 10:30~14:00

参加者 独居49人 部会11人 ボランティア1人 計61人

今回はバスにて外出しレクリエーション・昼食・ビンゴゲームを行いました。

ビンゴの景品は、ボランティア(美和の会)の手作りで皆さん喜ばれ楽しいひと時を過ごされました。

(3) 敬老の日記念品贈呈

敬老の日 祝いとして、白寿(99歳)と米寿(88歳)になられた方に記念品代として、商品券をお贈りしました。

白寿 12名(10,000円) 米寿88名(6,000円)

(4) 金婚祝賀会

第3回筑前町金婚祝賀会を女性センターにおいて、新会員を迎え会員みんなでお祝いしました。

・平成19年11月22日(木)

新会員数 23組 44人 既会員数 45人

来 賓 6人 なずな保育園児 29人

3. 青少年福祉事業

(1) 体験学習

① 小学生福祉施設ふれあい体験学習

開会式 8月 3日(金) 参加児童数 15人 保護者 13人

施設の担当職員から、全体的な注意事項と施設の概要説明をしていただきました。

月 日	施設名	参加児童数	備 考
8月 7日 (火)	朝 倉 苑	6	PTA 2・教職員 2
	夜 須 学 園	4	PTA 2
8月 8日 (水)	菊 水 苑	4	PTA 3・教職員 1
	サンビレッヂ朝日ヶ丘	3	
8月 9日 (木)	城 山 荘	2	PTA 5・教職員 1
	朝 老 園	3	PTA 1・教職員 3
8月10日 (金)	菊 池 園	3	PTA 2
	第二野の花学園	7	・教職員 1

② 中学生福祉施設体験学習

昨年までの一泊体験を日帰りにして実施しました。

開会式 8月17日(金) 参加生徒 38人

施設の担当職員から、全体的な注意事項と施設の概要説明をしていただきました。

月 日	施設名	参加生徒数	備 考
8月21日 (火)	朝 老 園	6	教職員 1
	菊 池 園	9	教職員 1
8月22日 (水)	サンビレッヂ朝日ヶ丘	3	教職員 1
	菊 水 苑	18	教職員 1
8月23日 (木)	第二野の花学園	3	教職員 2
	城 山 荘	4	教職員 3
8月24日 (金)	夜 須 学 園	3	
	朝 倉 苑	14	教職員 2

(2) 春休みふれあい体験

昨年までの「クリスマス交流会」に変わるものとして、障がい児(小学生)と中学生・高校生の交流を目的として開催しました。

中・高生には、ボランティアとして参加してもらい、今後のボランティア活動へのステップになることを、期待したいです。

・平成20年 3月23日(日)

夜須高原青少年自然の家 参加者総数 23人

(3) 社会福祉協力校への支援

- ・平成19年5月24日(木) 東小田学校 2年3組
生活科「町たんけん」でコスモスプラザ敬老館へ
施設説明 9:30~10:00
- ・平成19年11月20日(火) 三並小学校 2年生
生活科「コスモスプラザ見学」でコスモスプラザ敬老館へ
施設説明・見学 10:30~11:00

(4) 福祉教育読本「ともに生きる」の配布

福祉教育推進のため、県社会福祉協議会が作成した福祉教育読本の配布を行いました。

三輪小学校(4年生)・東小田小学校・中牟田小学校・三並小学校(5年生)
合計342冊 9月中旬に配布

4. 障がい者(児)福祉事業

障がい者(児)の自立と社会参加の促進、各種行事の参加推進を行い、交流の機会をつくりしました。

(1) 筑前町身体障害者福祉大会

在宅障がい者の社会参加の必要性を考え、障がい者同士の交流の機会を提供することを目的としました。

- ・平成19年9月28日(金) 10:00~14:00
場 所 国立夜須高原青少年自然の家
内 容 AM 体験発表(2人)
昼食 (自然の家レストラン)
PM 防災訓練
参加者 障害者 50人 来賓・部会 19人 ボランティア 4人

(2) 重度障がい者(児)遠足会

1・2級の重度障害者を対象に、外出の機会づくりと、障がい者間、世代間の交流を目的に遠足会を行いました。

- ・平成19年11月7日(水)
菊花展観覧 太宰府天満宮 めくばーる 参加者32人

(3) 障がい児の遊び場「コスモスキッズ」

障がいを持つ子供が思いっきり遊べ、他者との交流ができる場所を提供しました。 年6回 開催 延べ参加者 98人

問題点 障がい児であり、体調により参加が困難な場合がある。

毎回参加する子どもは決まってきている。

母親としては個別に対応してもらえないなどから参加する事に魅力がないなどの声がありました。

今 後 参加人数がこのままなら事業として継続できない。

自主運営、又は相互関係での一時預かり的な活動への移行も考えて

行かなければならない。

(4) 在宅介護者のつどい

在宅で介護している介護者が日頃の疲れをリフレッシュする事を目的とし、同じ悩みをもつ同士が交流し、情報交換の場になるよう開催しています。

・平成19年7月17日(火) 11:00~15:00

めくばーる福祉館(多目的室)

内 容 AM レクリエーション

PM 通所サービス事業所の紹介・意見交換

参加者 介護者(19) 介護事業所(9) 部会(15) 計43人

感 想 みんなの気持や意見が通じあって、充実していた。

実践の話しが良く、分かりやすい。

今回のような雰囲気続けてほしいなどの意見がありました。

・平成19年11月29日(木) 10:00~15:00

内 容 外出 東峰村(行者杉・小石原焼・道の駅) 散策、

昼食 食事・交流・入浴 参加者 20人

(5) 障害者相談支援事業

障害者(身体障害・精神障害・知的障害)や、その保護者、介護者から各種相談に応じ必要な情報提供や助言をおこないました。

・相談業務

精神 7件 知的 8件 身体 61件

(利用者延人数)

男性 36人 女性 67人 延べ総数 103人

・認定調査

新 規 10件 在宅 35件 入所 21件

体系変更 10件 再調査 4件 総計 80件

(6) コミュニケーション支援(筑前町手話・要約筆記奉仕員派遣事業)

障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障がい者等と、その他の者との意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣を行いました。

利用登録者 11人 通訳登録者 9人

19年度実績 計24件

(7) 車椅子等の福祉機器貸し出し

年間実績 車椅子 30件 電動ベッド 18件

5. ボランティアの育成、支援事業

(1) ボランティア連絡協議会との連携

ボランティア連絡協議会運営委員会を中心に各グループ間の交流や、お互いの活動の理解を図る。グループを超えたネットワークの形成を図りました。

年間7回 運営委員会を開催。各グループの活動や問題点などの共有や、他機関からのボランティア要請などの情報を提供しました。

社協とボラ連との共催事業として、筑前町ボランティアのつどいとボランティア入門講座をおこなっています。

(2) 手話講座

・平成19年5月8日(火) 夜の部 5人

・平成19年5月9日(水) 昼の部 9人

10月までの半年間、毎週開催しています。

聾唖者を講師に、手話の会が通訳として手話を学んでいます。

今年度は13人の方が終了証を受けられ、次の段階にチャレンジされています。

(3) ボランティア入門講座

ボランティア活動への参加促進、育成及びマンパワーの確保を目的として開催。7月から12月まで、月1回の計6回開催しました。

・平成19年7月21日(土) 13:30~16:00 6人

「ボランティア・・・私に出来ること！」 NPO法人ほっと・おあしす

・平成19年8月20日(月) 10:00~15:00 9人

「障害者作業所に行ってみよう！」 ひだまり・くるみ苑

・平成19年9月27日(木) 13:30~16:00 6人

「もし、あなたの町に・・・その時自分たちに出来ること」

まちづくり課 消防安全係長

・平成19年10月21日(土) 13:30~16:00 6人

「目が見えないって・・・どんなこと」 ガイドボランティア・盲人会

・平成19年11月18日(土) 13:30~16:00 6人

「子供さんやお孫さんと一緒に本を読んでいますか？」 アイアイフレンズ

・平成19年12月16日(土) 13:30~16:00 6人

「自分の気持ち伝えられますか？」 手話の会・聴覚障害者福祉協会

(4) ボランティア活動参加への呼びかけ

「広報ちくぜん」や「社協だより」で、ボランティアの活動報告及びボランティア募集・ボランティア講座の募集をしています。

(5) 朗読ボランティア養成講座

・平成20年2月5日(火) 10:00~15:30

コスモスプラザ 会議室1・2・3

元NHKアナウンサー 佐々木謙介さんを講師に、現在ある朗読ボランティア2団体の研修と、新たなボランティアの人材発掘をかねて「日本語再発見・昔話を見直そう」と題して開催しました。

(6) 筑前町ボランティアのつどい

・平成20年2月3日(日) 9:30~12:00

コスモスプラザ ふれあいホール

ボランティアの啓発と研修を兼ねて開催。ボランティア団体の発表と九州あそびの学校 所長 中島宏さんに「遊んで育てよう楽しくボランティア」と題し

て講演していただきました。

6. 母子・父子・寡婦福祉事業

(1) 母子・父子家庭ふれあい遠足

ひとり親家庭を対象に、他親子とのふれあい、情報交換等ができリフレッシュできるように遠足会を行いました。

・平成19年11月18日(日) 8:45~16:00

場 所 熊本県玉名市天水町(水本オレンジガーデン)

対象参加人数 18人(7家族)

(2) 白百合会のつどい開催

夫と死別又は離別された時、当時15歳以下の子どもを扶養され25年以上育てられた母親の苦労をねぎらい、励ましのつどいを開催し交流を行いました。

・平成20年 3月 4日(火) 女性センター

新会員数 2人 会員数 46人 ボランティア 3人

7. 受託事業

(1) 敬老館運営管理事業

今年度より敬老館の利用料の変更があり入館料(町内100円・町外200円・入浴料を廃止)を徴収することとなった。

一般住民及び高齢者に、教養の習得・レクリエーション等のための場を提供することにより心身の健康増進を以って福祉の向上を目的としています。

① 会館日数、入館者数

	年 間	月平均
会館日数	304	25
入館者数	16,730	1,394

② カラオケ、訓練器具利用状況

	カラオケ	訓練器具		
	町 内	ハッピー ライフ	太陽灯	ホクシン ヘルサー
年 間	372	1,925	525	697
月平均	31	160	44	58

(2) 敬老館食堂事業

明るい雰囲気をお大切に、語らいの場として気軽に利用できるよう工夫しました。

売り上げの低迷によりサロンや団体の予約を受付、売り上げの向上に努めました。

担当でミーティングを毎月1回実施しました。

月間売上実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上額	491,650	497,450	506,400	508,550	514,600	574,050
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上額	508,700	559,400	504,780	460,700	552,290	568,010
	合 計					6,246,580

(3) 福祉給食サービス事業

食事を作ることが困難な高齢者や障害者に対して、給食（昼食、夕食）の弁当を届けると共に、利用者の安否確認を行いました。

社協職員が定期的に利用者宅を訪問して給食に対する意見や状況確認などを行っています。

毎月10日・11日を集金日とし利用者宅を訪問しています。

福祉課主催の調整会議へ参加し利用者の調整等関係機関で検討しています。

（給食ミーティング・・・月1回 調整会議・・・月1回）

給食サービス利用者

単位：日・人・食

	活動日	利用者数	昼食	夕食	合計
配食数	362	1,074	6,927	17,852	24,779

(4) 学童保育運営事業

① 今年度より、みわっ子 SAN²クラブ（三輪地区）70人・のびのびクラブ（夜須地区）70人の児童を、下校時から18時30分まで預かり保育を行っています。

また、10月より「みわっ子 SAN²クラブ」は三輪小学校敷地内へ・中牟田小学校敷地内に「すくすくクラブ」50人を新設し、「のびのびクラブ」（東小田小学校）から分散しました。

児童数（3月末現在）

単位：人

クラブ名	1年生	2年生	3年生	4年生以上	合計
みわっ子 SAN ² クラブ	37	17	8	0	62
のびのびクラブ	25	18	9	3	55
すくすくクラブ	12	2	4	3	21

② 昨年まではそれぞれの保護者会の運営であったため、色々な取り決めが異なっていることから調整をしています。

③ 保護者会や指導者との連絡、調整を密にして事業の推進を行っています。

④ 役員会・保護者会等の開催

・役員会 みわっ子 SUN²クラブ 年8回
のびのび・すくすくクラブ 月1回

法律・人権	1				1	
財 産	1 2	4			7	1
児童福祉・母子保健	1					1
老人福祉	3	1			2	
苦 情	4	1				3
その他（多重債務）	1 0		1		8	1
合 計	6 7	1 4	1	1	3 4	1 7

(2) 心配ごと相談員研修会

福岡県弁護士会所属の鐘ヶ江弁護士を講師に迎え、心配ごと相談事業で相談の多い事例をもとに講演をいただき、身近な法律問題や問題解決の対応について研修会を行いました。

- ・平成20年3月5日（水） めくばーる学習館 視聴覚室
相談員及び民生児童委員 43人

(3) 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

社会福祉法に基づき、認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分なため、日常生活に困っている方に、福祉サービスの利用や日常金銭管理のお手伝いをします。

平成19年度相談件数 3件 契約 1件

9. 貸付事業

(1) 育英就学資金貸付事業

高等学校以上の学校に進学を希望する低所得世帯の子弟に対し、就学の機会を与えるため就学支度金を貸付、以って安定した生活環境の下で就学に専念し、教養を高めることを目的に「育英就学資金」の貸付制度があります。

① 平成19年度現在の貸付状況

(単位 人・千円)

年度当初貸付額		年度内貸付額		年度内返還額		年度末貸付残額		滞 納 額	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
7	1,358	0	0	2	65	7	1,293	5	898

(2) 福岡県社会福祉協議会生活福祉資金貸付事業

低所得者・障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定をした生活を送れるようにすることを目的とした貸付事業です。

・平成19年度現在の貸付状況

平成19年度末現在の貸付者 14人
平成19年度 貸付 なし

10. 共同募金事業

(1) 赤い羽根共同募金には、毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その共同募金は、福岡県共同募金会に納金後、翌年度の事業費筑前町社会福祉協議会に配分金として配分されます。配分金は地域福祉活動の貴重な財源となっております。

① 募 金 額

募金内訳	目 安 額	実 績 額	内 訳
戸別募金	4,822,200	4,569,170	54区
企業募金	1,445,000	1,527,205	344件
個人募金	768,000	797,615	268件
学校募金	15,000	26,200	町内小中学校
団体募金	885,000	824,776	老人クラブ 776,366円 民生委員会 24,000円
資材募金	460,000	616,500	バッジ73個 ネクタイピン20個 図書カード260枚 クオカード300枚
その他募金	30,000	48,379	街頭募金 45,991円 どんとかがし祭り 2,388円
募金総額	8,425,200	8,409,845	

(2) 歳末たすけあい運動募金

歳末たすけあい募金には、毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その配分金は、新たな年を迎える時期に、援助や支援を必要とする人々が地域で安心して新年を迎えられるように、支援する貴重な財源となっております。

① 募 金 額

募金内訳	目 安 額	実 績 額	内 訳
戸別募金	2,411,100	2,072,981	54区

(3) 歳末見舞い金

皆様からいただいた募金は、真心のこもった贈り物として、暖かいお正月をむかえられるように「見舞金」として、次の方々に贈りました。

また、地域福祉・障害者施設支援事業にも役立たせていただきました。

① 見舞金贈呈事業

対 象 者	件 数	金 額
虚弱者	25	125,000
寝たきり老人	9	45,000
身体障害者1級	68	340,000
療育手帳保持者	12	84,000
準要保護児童世帯（1人）	62	310,000
準要保護児童世帯（2人）	35	245,000
準要保護児童世帯（3人）	7	70,000
支援の必要な世帯（独居老人）	136	680,000
計	354	1,899,000

② 地域福祉・在宅福祉サービス事業

事業内容	件 数	金 額
共同作業所等支援事業	5	120,000
障がい者（児）との交流会事業	1	9,765
遊具無料貸出事業	1	44,216
計	7	173,981

(4) バス停留所の管理

社協が管理するバス停留所の待合所は、ボランティアの方々がいつも清潔に清掃されています。

・バス停

国道386号線 上り 8停留所 下り 8停留所
太刀洗駅（北側・南側）

・バス停待合所建設助成

・バス停待合所修理 1ヶ所 依井バス停、ベンチ修理・塗装

・社協職員により、バス停の点検を兼ねて清掃を行いました。

1.1. 広報活動の推進

社協の事業を広く町民にお知らせし、福祉事業への理解と支援をお願いするために様々な情報提供を行いました。

(1) 町が発行する「広報ちくぜん」に毎月情報を掲載しました。

(2) インターネットにホームページを開設し、毎月情報を更新し掲載しました。

(3) 「ちくぜん社協だより」を年5回発行し福祉事業内容の紹介や情報提供を行い啓発に努めました。

(4) 赤い羽根共同募金については、チラシを作成し全家庭に配布をしました。募金の使途、活動の理解とご協力をお願いしました。

(5) 心配ごと相談や各種つどいの開催等の案内を町内放送にて適時に行い情報の提供、参加の呼びかけを行いました。